

大和葛城山(天狗谷コース)

<日程> 2016年5月7日(土)

<天気>曇り

<参加人数> 7名

<行程>

JR 高槻(8:27発)=阿部野橋
(9:20)=古市(9:36)=
富田林(9:45着) バス(9:
50発)=葛城山登山口(1
0:20着)=天狗谷コース=
クサリ場(11:00)=大和葛
城山(12:30~13:25食
事・ツツジ観賞)=自然研究路
(13:50)=葛城山ロープウ
ェイ前着(15:10着)=近鉄
御所駅(16:10着)=阿部野
橋(17:7)=JR 高槻(17:57)



標高差600+α 歩行距離 8.9 km 所要時間5時間50分 歩行時間4時間10分

<概要>

「ツツジが5分咲き 見ごろ」とのニュースもあり、バスはすし詰め超満員状態であった。登山道は、しっかりとした標識があり、迷うことはないように整備されていた。バス停が登山口前になっており、舗装路を上がっていく。昨日の雨が残るか心配していたが、大丈夫であった。雨の後は、新芽が鮮やかに感じられた。小鳥のさえずりの中を行く。15分程度歩いて、衣服調整、体操をして、再出発する。天狗谷の川が最初は右手にあったが、途中左に変わる頃から急登が続く。道は石や木の階段になっており、急登ではあるが整備されていた。1ヶ所クサリ場がある以

外は、歩きやすい道であった。

葛城山々頂に到着すると、風景が一変。樹木がなく、360度見晴らしがよい空間になっていた。下とは全く空気が違う。強風が吹き、寒さに慌てて上着を羽織る。しかし、あいにく曇っていた。晴れていれば、きっと素晴らしい眺めが見えたことだろう。

食事は、ツツジが見える見晴らし台に座ってとる。山の南斜面一面が、ツツジの赤で埋め尽くされていた。中を散策できるように道もあった。食後は、写真を撮りながら、ゆっくり観賞する。

北尾根展望コースの自然路と、谷を挟んで神社側の自然研究路のコースがあるが、後者から下る。自然林が広がっていて、ここもまた小鳥が盛んにさえずっており、気持ちが良い。しばらく進むと北尾根展望コースと合流する。20分ほど歩くと展望地に出る。奈良の畷傍山、耳成山、香久山が見える。緩やかな自然路は急な下りになり、足元に注意しながら、さらに下っていくとロープウェイの下の駅に出る。

バスに乗らずに、3.3キロの道を歩いて御所駅に着く。酒蔵もあり、昔ながらの風格を持った立派な家が多い。同じ苗字の家も多く、薬草、薬茶(?)を売る店には、試飲オッケーの看板もあった。



<感想>

初めてツツジの季節の葛城山に登った。斜面一杯のツツジは壮観であった。緑の樹木は遠く、斜面全体が赤く染まっていた。今日はガスがかかっていたが、それもまた、幻想的な雰囲気をかもしだしていた。よく見ると花の色が違う。ツツジの種

類が違うのがわかる。3種類程度かなと思うが、家に帰り調べてみると10種類に及ぶツツジがあるとのこと。

今日は私にとって、ほぼ1か月ぶりのハイキングでかなり疲れた。それを吹き飛ばす深紅の山であった。(Matubara・記)

